

肺がんとTKI 皮膚障害マネジメントの方法

2024/8/23 18:00～
さいたま赤十字病院
寺坂 裕希

本日の内容

- アンケート結果のご報告
- 肺がんとTKI
- 皮膚障害マネジメントの方法

本日の内容

- ・アンケート結果のご報告
- ・肺がんとTKI
- ・皮膚障害マネジメントの方法

アンケート結果のご報告

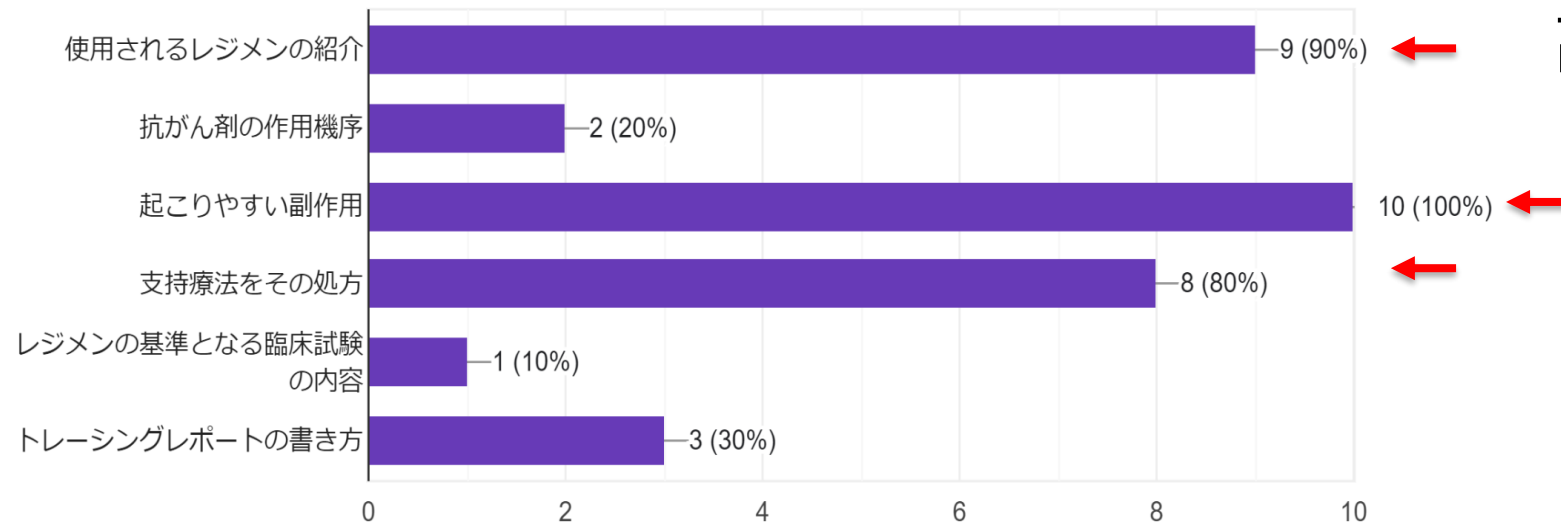
回答者10名

- ・ 本日の内容はいかがでしたか(2024/5のレジメン研修会)
 - ・ ちょうどよかった 9名(90%)
 - ・ 難しかった 1名(10%)
- ・ 明日からの業務にいかせる内容でしたか
 - ・ はい 10名(100%)
- ・ 今回の研修会に関してコメントや質問があればお願いします
 - ・ 乳ガンのサブタイプ別の解説分かりやすかったです。
 - ・ オンデマンド配信いただくようになり、時間を選ばず視聴できるのでとても助かります。

アンケート結果のご報告

レジメン研修会でどのような内容を期待しますか

10 件の回答



レジメンの紹介
副作用、支持療法が多かった

- ・ 次回以降のレジメン研修会で取り上げてほしい内容がありますか
 - ・ 肺がん治療
- ・ 日頃の業務の中でがん治療中の患者さんに対応する際に困っていることや困難なことはありますか
 - ・ 薬局窓口で神経毒性特に手指のしびれについて相談された時に、良いアドバイスがなかなかできない。対症療法について知りたい。 → 次回以降で実施予定とします

アンケート結果のご報告

- ・ 開催頻度(3か月に1回)はいかがですか
・ ちょうどいい 10名(100%)
- ・ 開催開始時間(18時～)はいかがですか
・ ちょうどいい 7名(70%)
・ 早い 3名(30%)
- ・ 研修会の実施時間(1時間弱)はいかがですか
・ ちょうどいい 10名(100%)
- ・ 今後の研修会はどのような形態を希望しますか
・ リアルタイムとオンデマンドの両方 8名(80%)
・ オンデマンド配信のみ 2名(20%)



→現状の運用を継続とします

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

本日の内容

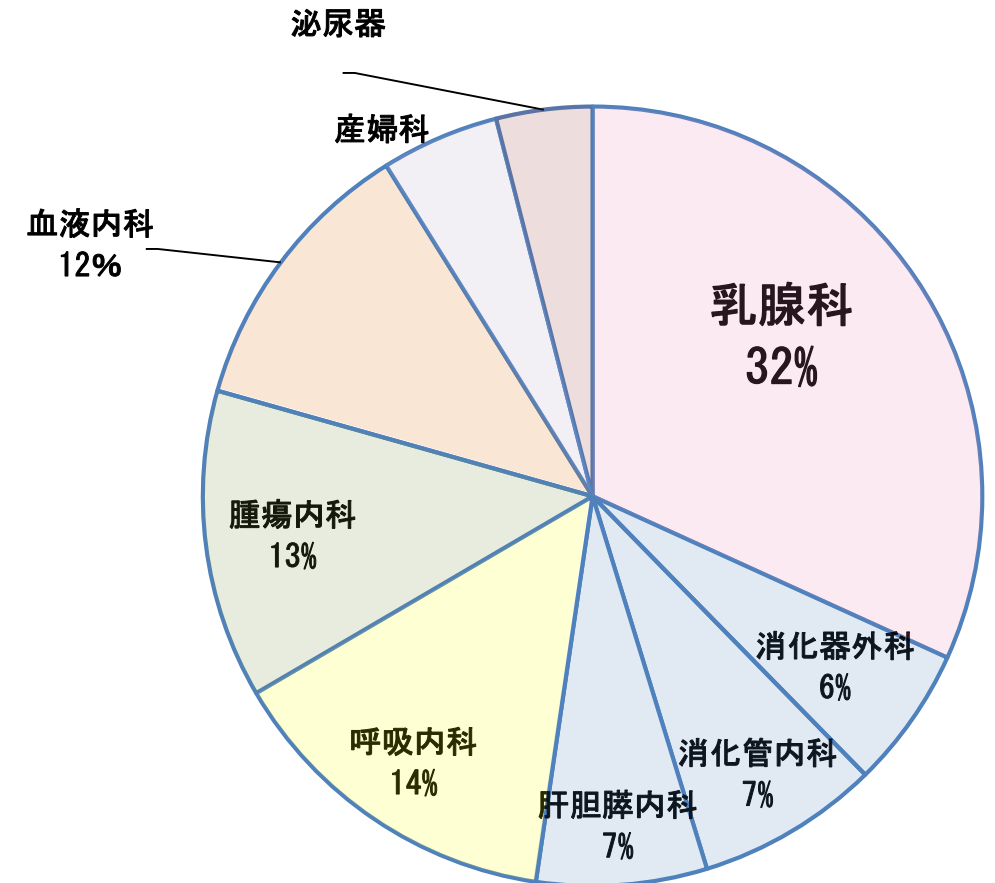
- アンケート結果のご報告
- 肺がんとTKI
- 皮膚障害マネジメントの方法

当院の外来化学療法室について



病床数:30床
(うち1床は緊急処置用)

外来化学療法室 実施割合



2023年1月～2023年12月

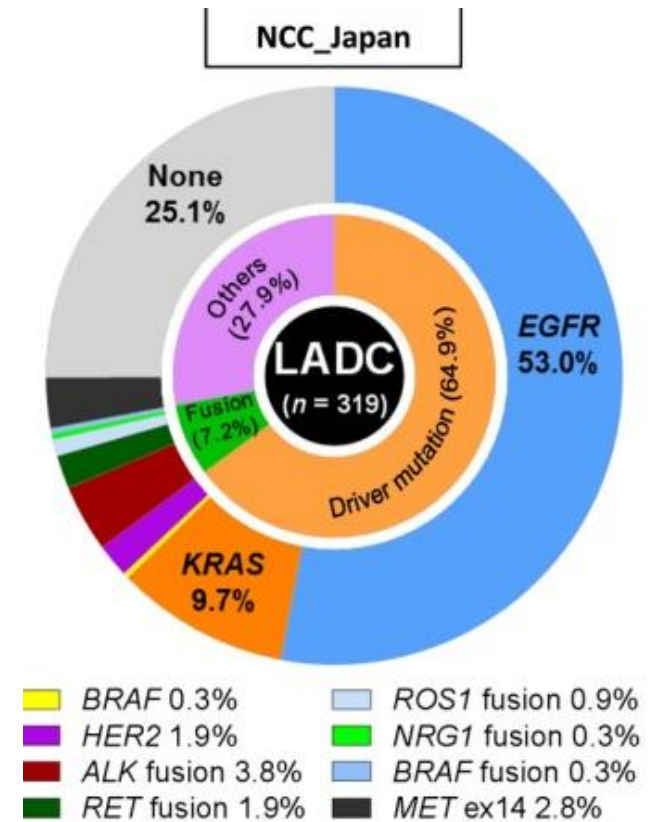
肺がんと遺伝子変異による治療選択

日本ではEGFR遺伝子変異が最も多い

・ EGFR

オシメルチニブ
エルロチニブ ± ラムシルマブ

アファチニブ
ダコミチニブ
ゲフィチニブ



日本人肺腺癌における遺伝子変異の割合

Cancer Sci 2016 Jun;107(6):713-20

<https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/cas.12941>

肺がんと遺伝子変異による治療選択

- ALK
アレクチニブ
ロルラチニブ
ブリグチニブ
- ROS1
クリゾチニブ
エヌトレクチニブ
- BRAF
ダブラフェニブ
＋トラメチニブ
- MET
テポチニブ
カプマチニブ
- RET
セルペルカチニブ
- NTRK
エヌトレクチニブ
ラロトレクチニブ
- KRAS G12C
ソトラシブ(2次治療以降)
- HER2
トラスツズマブデクルステカン
(2次治療以降)

オシメルチニブ

- 80mg/日連日
有害事象や高齢者の場合は40mgに減量することもある
- T790M変異にも有効
- 今後は点滴と組み合わせて行うこともある(レジメンNo585、586、587)

<重篤な副作用>

- 肺障害：空咳、息切れ、発熱
- 心筋障害(QT延長)：動悸、めまいなど

<頻度の高い副作用>

- 皮膚障害
- 下痢

エルロチニブ＋ラムシルマブ (No459)

day	1	2～14	15(2コース目 day1)
エルロチニブ150mg	●	●	●
ラムシルマブ10mg/kg	●		●

- エルロチニブは空腹時(食事1時間前～食後2時間は避ける)内服
- 有害事象の場合はエルロチニブ100mgに減量
- ラムシルマブの前投薬にd-クロルフェニラミン5mg使用

<注意が必要な副作用>

- 間質性肺炎
- 皮膚障害
- 下痢
- 高血圧(ラムシルマブ)

エルロチニブと相互作用

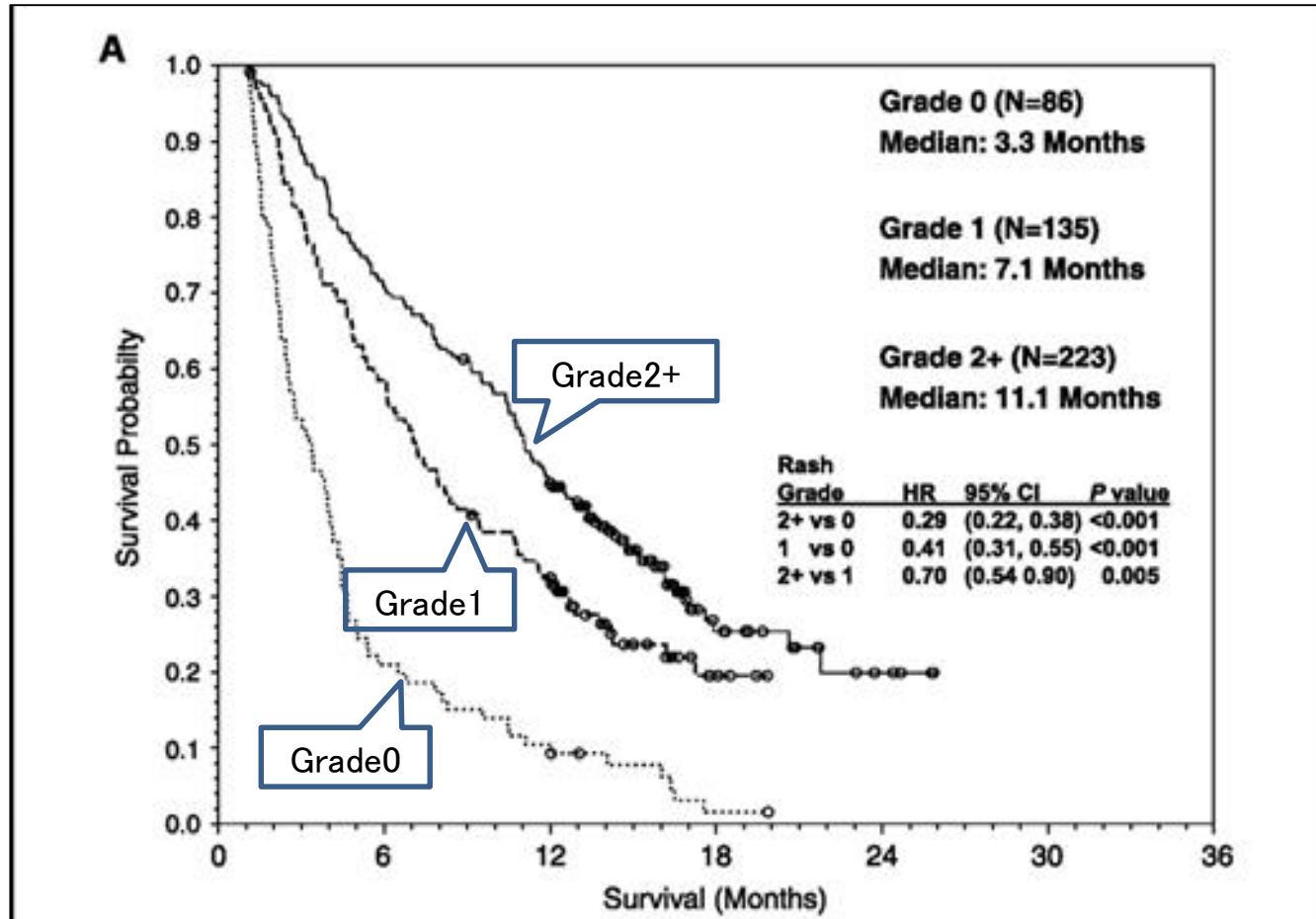
- **H2ブロッカー、PPI**と併用でAUC33～46%減（胃内の吸収低下）
EUの添付文書では
「ラニチジンを服用する際には、時間をずらして投与（ラニチジン投与2時間前もしくは10時間後にタルセバを服用）すること（AUC15%減）」
（タルセバ製品Q&A）
- **ワーファリン**: PT-INR延長（機序不明）
- **CYP3A4阻害薬、誘導薬**とは併用注意
グレープフルーツジュースは避ける（血中濃度上昇）
- **喫煙**（CYP1A2誘導）でAUC64%低下 **禁煙！！**

※複数医療機関受診の場合は注意

本日の内容

- アンケート結果のご報告
- 肺がんとTKI
- 皮膚障害マネジメントの方法

エルロチニブの皮疹と治療効果



- 皮疹と治療効果は相関
- 皮疹の症状コントロールが重要
- G1-2は対策しながら継続
- G3は休薬

Wacker B, et al, Clin Cancer Res 13(13): 3913–3921(2007)

<https://aacrjournals.org/clincancerres/article/13/13/3913/193366/Correlation-between-Development-of-Rash-and>

エルロチニブの皮膚障害

2 発現時期

国内第Ⅱ相臨床試験(JO22903試験)*、国内臨床試験(二次治療以降)*および国内の全例調査**における皮膚障害発現時期の中央値は投与開始よりそれぞれ、発疹7日、6日、9日、爪囲炎37.5日、49日、34日、皮膚乾燥32日、15日、16日、皮膚潰瘍 発現なし、142日、49日、そう痒症13日、8日、10.5日でした。

項目	国内第Ⅱ相臨床試験(JO22903試験)		国内臨床試験(二次治療以降)		国内の全例調査	
	中央値	範囲	中央値	範囲	中央値	範囲
発疹	7日	1~58日	6日	1~23日	9日	1~508日
爪囲炎	37.5日	8~400日	49日	12~381日	34日	1~558日
皮膚乾燥	32日	3~344日	15日	4~167日	16日	1~453日
皮膚潰瘍	—	—	142日	60~224日	49日	2~313日
そう痒症	13日	2~460日	8日	2~198日	10.5日	1~413日

写真① 膿疱性丘疹
(両側頬部、鼻翼部、鼻背部)



写真② 落屑を伴った紅斑と膿疱性丘疹
(左頬部、鼻翼部)



写真③ 乾皮症(足底部)



写真④ 爪囲炎



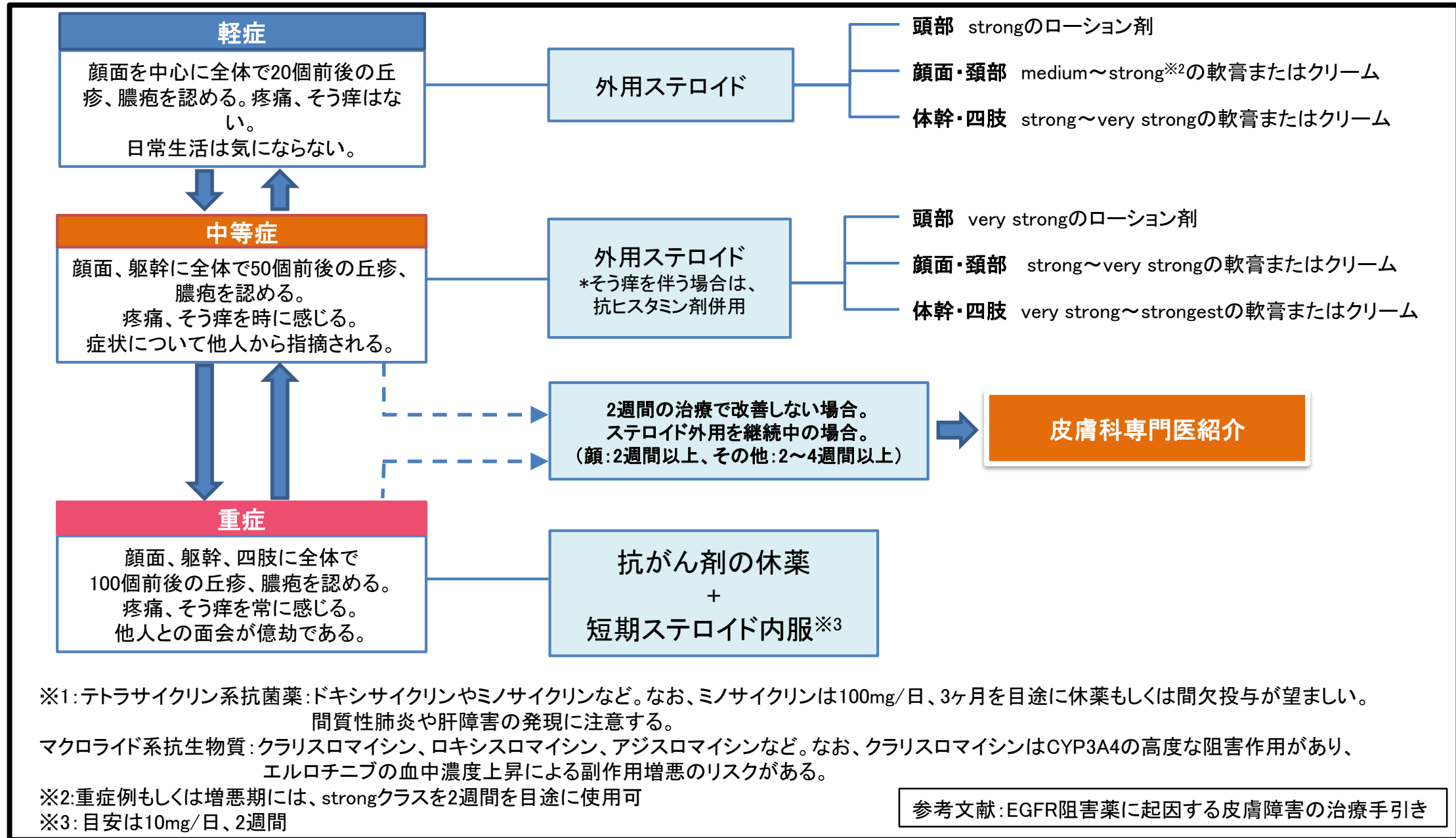
発疹は内服開始から1週間前後、
爪囲炎は1ヶ月前後で発現しやすい

内服開始時からスキンケア
(保清、保湿、保護)

ざ瘡様皮疹

スキンケア+テトラサイクリン系もしくはマクロライド系抗菌薬※1

+



爪囲炎に対するテーピング法

- 軽症の時から早期に対応する
- 外用剤と併用する場合は
テーピング→外用剤の順

はれた皮膚や肉芽が爪の横にかぶってきている場合は「テーピング法」を指導する。方法は、盛り上がった肉芽を爪からはがすように引っ張りながら、テープで固定する。その際、指先の血液循環が悪くならないようにテープをらせん状に巻く（図2）



- ① 爪と皮膚を引き離すように、爪の外側にテーピングを貼る
- ② 引っ張りながら指の腹側へテーピングをまわす
- ③ テーピングを爪の上でカットして完了

図2 テーピング法

爪の際に肉芽が形成されて爪が食い込んでいる場合は、「スパイラルテープ法」を指導する（図3）

爪からの周囲皮膚や肉芽に加わる刺激や加圧を緩和する目的で行われる

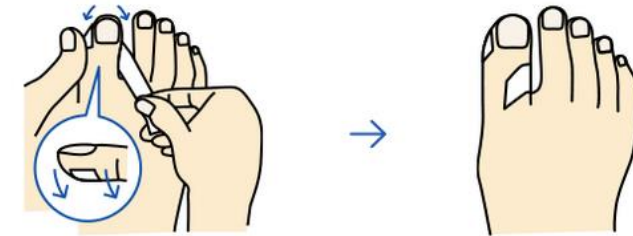


図3 スパイラルテープ法

皮膚障害に関する参考資料

- 分子標的薬に起因する皮膚障害対策
- EGFR阻害薬に起因する皮膚障害の治療手引き
- がん治療におけるアピアランスケアガイドライン2021年版
- がん治療の皮膚ケア情報サイト はだカレッジ
第一三共ヘルスケア
- 各薬剤の患者用指導冊子



- G1の皮膚障害でも早期に対応して重篤化しないよう外用剤の使い方などを指導
- 追加処方への提案は具体的な薬剤名があると医師は処方しやすい

副作用対応事例【爪囲炎】

[患者] 70代男性

[診断] 肺癌術後再発 EGFR(+)

[治療] オシメルチニブ 80mg

20●●年01月10日 オシメルチニブ内服開始

20●●年04月30日 薬局フォローアップ時に

「手の爪が指に食い込んで痛い、手の皮膚の赤みや乾燥、爪の変化がある。保湿剤は体に塗ってるけど手には使用していない。爪のテーピングするよう言われたけどやりかたがわからない。」

→ **爪囲炎G2**と確認

- 保湿指導とテーピング指導のおかげで皮膚症状が軽減したのかも
- ステロイド外用剤は具体的な商品名（先発）の方が医師は処方しやすいかも

20 ●●年05月07日(トレーシングレポート)

手足の保湿の励行、スパイラルテーピングの方法を指導しました。

ステロイド外用剤(ストロング～ストロングエスト)の追加検討していただけると幸いです。

20●●年05月24日 診察室で爪、皮膚の症状の訴えあり

→ **ヘパリン類似物質クリーム、ヘパリン類似物質ローション追加**

20●●年07月26日 診察中に皮膚症状の訴えなし→ **オシメルチニブ継続処方、外用剤処方なし**

抗がん剤治療情報提供書

通常用と免疫チェックポイント阻害薬単独用の2種類あり

(副作用評価はCTCAE v5.0を元に作成)

有害事象	該当なし	グレード1	グレード2	グレード3
悪心(吐き気)	☐	☐ 食事に影響のない食欲低下がある。	☐ 明らかな体重減少(1kg程度以上)や脱水はない。食事は減少する。	☐ 食事に影響が十分でない。入院して点滴治療等が必要である。
嘔吐	☐	☐ 症状が軽く、経過をみる事が可能である。	☐ 外来での点滴治療や内服治療が必要である。	☐ 入院して点滴治療等が必要である。
口腔粘膜炎(口内炎)	☐	☐ 症状が軽く、経過をみる事が可能である。	☐ 痛みや潰瘍がある。食事内容は症状に合わせる必要がある。食事は取れる。	☐ 痛みがあり、食事が取れない。
味覚異常	☐	☐ 食事量の減少しない味覚変化がある。	☐ 不快な味や味覚がなくなる等の食事量に影響する味覚変化がある。	
便秘	☐	☐ 時々下剤等を使用する。	☐ 毎日下剤等を使用する。日常生活に影響は少ない。	☐ 排便する必要がある。日常生活に影響がある。
下痢	☐	☐ 普段と比べて排便回数が1日3回の範囲内で増える。	☐ 普段と比べて排便回数が1日4-6回増える。日常生活に影響は少ない。	☐ 普段と比べて排便回数が1日7回以上に増える。日常生活に影響がある。
倦怠感	☐	☐ 軽いだるさがある。	☐ 中程度のだるさがあるが、日常生活に影響は少ない。	☐ 強いだるさがあり、日常生活に影響がある。
関節痛	☐	☐ 軽い痛みがある。	☐ 中程度の痛みがあるが、日常生活に影響は少ない。	☐ 強い痛みがあり、日常生活に影響がある。
筋肉痛	☐	☐ 軽い痛みがある。	☐ 中程度の痛みがあるが、日常生活に影響は少ない。	☐ 強い痛みがあり、日常生活に影響がある。
末梢性感覚ニューロパチー(手足のしびれ)	☐	☐ 軽い症状がある。日常生活に影響がない。	☐ 中程度の症状があるが、日常生活に影響は少ない。	☐ 強い症状があり、日常生活に影響がある。

抗がん剤治療情報提供書

ID @PATIENTID 患者氏名 @PATIENTNAME @SYSDATE3

①実施しているレジメ(レジメ登録No レジメ名)

レジメ登録No

②レジメの実施状況

コース目

③抗悪性腫瘍薬等の投与量

体表面積㎡→ 体重kg→

④前コースでの主な有害事象(副作用)の発現状況(CTCAE v5.0);該当する箇所に■チェックされます。

血液・尿検査結果は処方せんを参照してください。

有害事象	該当なし	グレード1	グレード2	グレード3
悪心(吐き気)	☐	☐ 食事に影響のない食欲低下がある。	☐ 明らかな体重減少(1kg程度以上)や脱水はない。食事は減少する。	☐ 食事に影響が十分でない。入院して点滴治療等が必要である。
嘔吐	☐	☐ 症状が軽く、経過をみる事が可能である。	☐ 外来での点滴治療や内服治療が必要である。	☐ 入院して点滴治療等が必要である。
口腔粘膜炎(口内炎)	☐	☐ 症状が軽く、経過をみる事が可能である。	☐ 痛みや潰瘍がある。食事内容は症状に合わせる必要がある。食事は取れる。	☐ 痛みがあり、食事が取れない。
味覚異常	☐	☐ 食事量の減少しない味覚変化がある。	☐ 不快な味や味覚がなくなる等の食事量に影響する味覚変化がある。	
便秘	☐	☐ 時々下剤等を使用する。	☐ 毎日下剤等を使用する。日常生活に影響は少ない。	☐ 排便する必要がある。日常生活に影響がある。
下痢	☐	☐ 普段と比べて排便回数が1日3回の範囲内で増える。	☐ 普段と比べて排便回数が1日4-6回増える。日常生活に影響は少ない。	☐ 普段と比べて排便回数が1日7回以上に増える。日常生活に影響がある。
倦怠感	☐	☐ 軽いだるさがある。	☐ 中程度のだるさがあるが、日常生活に影響は少ない。	☐ 強いだるさがあり、日常生活に影響がある。
関節痛	☐	☐ 軽い痛みがある。	☐ 中程度の痛みがあるが、日常生活に影響は少ない。	☐ 強い痛みがあり、日常生活に影響がある。
筋肉痛	☐	☐ 軽い痛みがある。	☐ 中程度の痛みがあるが、日常生活に影響は少ない。	☐ 強い痛みがあり、日常生活に影響がある。
末梢性感覚ニューロパチー(手足のしびれ)	☐	☐ 軽い症状がある。日常生活に影響がない。	☐ 中程度の症状があるが、日常生活に影響は少ない。	☐ 強い症状があり、日常生活に影響がある。

今後上記のグレード3、症状が辛いグレード2に該当する場合や38度の発熱が続く場合は医師へ連絡してください。

⑤その他 医学・薬学的管理上必要な事項

その他

* 院外調剤薬局薬剤師の方へ 上記の内容をご確認の上、処方箋・服薬指導にご活用ください。
利用方法は当院ホームページ内の医療関係者の方へ→薬・薬連携→抗がん剤治療情報提供書を受け取られた院外調剤薬局の方々にあります。

さいたま赤十字病院 薬剤部 @USERNAME 印

当院のレジメンについて

薬-薬連携

患者情報提供に関すること

薬剤管理サマリーに関すること

抗がん剤治療に関すること

処方箋・調剤に関すること

薬品採用に関すること

サポート薬局との連絡会に関すること

抗がん剤治療に関すること

「抗がん剤治療情報提供書」を受け取られた保険薬局の方々へ

当院ではがん薬物療法における患者の安全性を高めるため、保険薬局との連携（情報共有）をしております。患者から『抗がん剤治療情報提供書』を提示された場合には、記載された〈レジメ登録No〉と〈レジメ名〉を基に当院ホームページより実施しているレジメ情報を参照してください。尚、ホームページに掲載されたレジメ情報の投与量、投与スケジュール、支持療法等は患者の状態により変更する場合があります。また『抗がん剤治療情報提供書』にはレジメの実施状況や前コースでの有害事象や医学・薬学的管理上必要な事項も記載しておりますので、服薬指導や薬学的管理にお役立てください。

患者より現コースでの服薬状況や有害事象（副作用）等の情報が得られた場合は、『抗がん剤治療に関する患者情報提供書』にその内容を記載し、FAXにて薬剤部まで送信してください。保険薬局からフィードバックされた情報は、当院薬剤師から主治医にその情報を伝え、次の診療に反映出来るようにします。

尚、当院では連携充実加算を算定しています。

FAX送付先 048-852-1157

本件に関する質問 048-852-1111（内線20064） 平日8:30-17:00

抗がん剤治療に関する患者情報提供書

がん化学療法用 [PDF版](#) / [EXCEL版](#)

がん化学療法用：
免疫チェックポイント阻害剤単独 [PDF版](#) / [EXCEL版](#)

レジメ

登録No別

診療科別

薬-薬連携

レジメ 呼吸器内科

患者情報提供に関すること

薬剤管理サマリーに関すること

抗がん剤治療に関すること

処方箋・調剤に関すること

薬品採用に関すること

サポート薬局との連絡会に関すること

全科共通	肝胆膵内科	血液内科	口腔外科	呼吸器内科	産婦人科	耳鼻咽喉科	腫瘍内科	消化管内科	消化器外科	乳腺科	脳神経外科	泌尿器科
● 027 シスプラチン+ナベルピン療法 												
● 028 カルボプラチン+ナベルピン療法 												
● 029 CAV併用療法 												
● 030 シスプラチン+エトポシド療法 												
● 031 カルボプラチン+エトポシド療法 												
● 050 シスプラチン連日少量投与法 												
● 051 GEM単独療法 												
● 052 CPT単独療法 												
● 053 ナベルピン単独療法 												
● 054 P-CT11療法 												
● 055 DOC単独療法 												
● 056 パラドセ併用療法 												
● 057 VP併用療法 												
● 058 NewMVP併用療法 												
● 081 New VP 												
● 086 パクリタキセル・ウィークリー療法 												
● 090 カルボプラチン+GEM療法 												
● 095 カルボプラチン+CPT-11療法 												
● 096 ハイカムチン連日療法 												
● 099 CDDP/BAI+VNB療法 												
● 107 カルボプラチン+TXL (weekly) 												
● 108 カルボプラチン+TXL (weekly) 												

診療科
呼吸器内科

診療科名

疾患名
EGFR遺伝子変異陽性肺癌

疾患名

レジメ名
サイラムザ+タルセバ or イレッサ療法

レジメン名

投与間隔
1クール 2週間 計 PDまで

投与間隔、
必要コース数

商品名	一般名	略号	投与量	投与方法	投与時間	投与日				
						day1				
サイラムザ	ラムシルマブ		10mg/kg/day	div	60min	●				
タルサバ	エルロチニブ		150mg/body/day	po		連日内服				
or										
イレッサ	ゲフィチニブ		250mg/body/day	po		連日内服				

使用薬剤名
投与量、投与方法
投与時間

投与スケジュール

備 考

点滴時間は初回の点滴で問題なければ2コース目以降は30分に短縮可能。
サイラムザにタルセバまたはイレッサを併用内服する治療レジメンです。

制吐剤、主な副作用、infusion reaction予防薬、投与基準、枝分かれレジメンについてetc.
(記載内容は各レジメンで異なる)

登録年月日
2020年 12月 3日

登録No.
No. 459

レジメンNo.

当院のトレーニングレポート

薬-薬連携

患者情報提供に関すること

薬剤管理サマリーに関すること

抗がん剤治療に関すること

処方箋・調剤に関すること

薬品採用に関すること

サポート薬局との連絡会に関すること

抗がん剤治療に関すること

「抗がん剤治療情報提供書」を受け取られた保険薬局の方々へ

当院ではがん薬物療法における患者の安全性を高めるため、保険薬局との連携（情報共有）をしております。患者から『抗がん剤治療情報提供書』を提示された場合には、記載された〈レジメ登録No〉と〈レジメ名〉を基に当院ホームページより実施しているレジメ情報を参照してください。尚、ホームページに掲載されたレジメ情報の投与量、投与スケジュール、支持療法等は患者の状態により変更する場合があります。また『抗がん剤治療情報提供書』にはレジメの実施状況や前コースでの有害事象や医学・薬学的管理上必要な事項も記載しておりますので、服薬指導や薬学的管理にお役立てください。

患者より現コースでの服薬状況や有害事象（副作用）等の情報が得られた場合は、『抗がん剤治療に関する患者情報提供書』にその内容を記載し、FAXにて薬剤部まで送信してください。保険薬局からフィードバックされた情報は、当院薬剤師から主治医にその情報を伝え、次の診療に反映出来るようになります。主治医と協議し対応した内容は後日フィードバックします。

尚、当院では連携充実加算を算定しています。

FAX送付先 048-852-1157

本件に関する質問 048-852-1111（内線20064） 平日8:30-17:00

抗がん剤治療に関する患者情報提供書

がん化学療法用

[PDF版](#) / [EXCEL版](#)

がん化学療法用：

免疫チェックポイント阻害剤単独

[PDF版](#) / [EXCEL版](#)

1 ページの先頭へ

FAX番号 048-852-1157 **さいたま赤十字病院 薬剤部**

抗がん剤治療に関する患者情報提供書(薬剤師→処方医)

※ 本FAXは即時対応しておりません。お問い合わせは、各診療科に電話連絡にてお願いいたします。

さいたま赤十字病院

診療科名

医師宛

情報提供元保険薬局の所在地および名称

電話

FAX

保険薬剤師名

患者ID	患者名	生年月日	レジメン名又は 抗がん剤名	レジメン施行日	確認日
	男・女	年 月 日 (生)		年 月 日	年 月 日

有害事象	該当なし	グレード1	グレード2	グレード3
悪心(吐き気)	☐	☐ 食事に影響のない 食欲低下がある。	☐ 明らかな体重減少(1kg程度以上)や 脱水はない。食事は減少する。	☐ 食事に影響が十分でない。 入院して点滴治療が必要である。
嘔吐	☐	☐ 症状が軽く、経過をみる事が 可能である。	☐ 外来での点滴治療や内服治療が必要 である。	☐ 入院して点滴治療が必要である。
口腔粘膜炎 (口内炎)	☐	☐ 症状が軽く、 経過をみる事が可能である。	☐ 痛みや潰瘍がある。食事内容は症状 に合わせる必要がある。食事は取れ る。	☐ 痛みがあり、食事が取れない。
味覚障害	☐	☐ 食事に影響のない 味覚変化がある。	☐ 不快な味や味覚がなくなる等の 食事に影響する味覚変化がある。	
便秘	☐	☐ 時々下剤等を使用する。	☐ 毎日下剤等を使用する。 日常生活に影響は少ない。	☐ 排便する必要がある。 日常生活に影響がある。
下痢	☐	☐ 普段と比べて排便回数が 1日3回の範囲内で増える。	☐ 普段と比べて排便回数が1日4-6回 増える。日常生活に影響は少ない。	☐ 普段と比べて排便回数が1日7回以上 に増える。日常生活に影響がある。
倦怠感	☐	☐ 軽いだるさがある。	☐ 中程度のだるさがあるが、 日常生活に影響は少ない。	☐ 強いだるさがあり、 日常生活に影響がある。
関節痛	☐	☐ 軽い痛みがある。	☐ 中程度の痛みがあるが、 日常生活に影響は少ない。	☐ 強い痛みがあり、 日常生活に影響がある。
筋肉痛	☐	☐ 軽い痛みがある。	☐ 中程度の痛みがあるが、 日常生活に影響は少ない。	☐ 強い痛みがあり、 日常生活に影響がある。
末梢性感覚 ニューロパシー (手足の痺れ)	☐	☐ 軽い症状がある。 日常生活に影響がない。	☐ 中程度の症状があるが、 日常生活に影響は少ない。	☐ 強い症状があり、 日常生活に影響がある。

その他
(服薬状況等含む)

<今回医師に伝えたい事項>

<今回指導した内容・提案事項等>

※緊急性のある症状やG3以上の症状は
直接病院へ電話連絡をお願いします。

FAX番号 048-852-1157 **さいたま赤十字病院 薬剤部**

抗がん剤治療(免疫チェックポイント阻害剤単独)に関する患者情報提供書(薬剤師→処方医)

※ 本FAXは即時対応しておりません。お問い合わせは、各診療科に電話連絡にてお願いいたします。

さいたま赤十字病院

診療科名

医師宛

情報提供元保険薬局の所在地および名称

電話

FAX

保険薬剤師名

患者ID	患者名	生年月日	レジメン名又は 抗がん剤名	レジメン施行日	確認日
	男・女	年 月 日生		年 月 日	年 月 日

有害事象	該当なし	グレード1	グレード2	グレード3
咳	☐	☐ 軽い咳がある	☐ 中程度の咳があるが、 日常生活に影響は少ない。	☐ 強い咳があり、日常生活に影響 がある。
息切れ	☐	☐ 階段や坂道で 息切れがある。	☐ 平地歩行時に息切れがあるが、 日常生活に影響は少ない。	☐ 安静時にも息切れがあり、 着替えなど日常生活に影響がある。
腹痛	☐	☐ 軽い腹痛がある。	☐ 中程度の腹痛があるが、 日常生活に影響は少ない。	☐ 強い腹痛があり、日常生活に影響 がある。
下痢	☐	☐ 普段と比べて排便回数が 1日3回の範囲内で増える。	☐ 普段と比べて排便回数が 1日4-6回増える。 日常生活に影響は少ない。	☐ 普段と比べて排便回数が1日7回 以上に増える。日常生活に影響 がある。
倦怠感	☐	☐ 軽いだるさがある。	☐ 中程度のだるさがあるが、 日常生活に影響は少ない。	☐ 強いだるさがあり、日常生活に影響 がある。
食欲不振	☐	☐ 食事に影響のない 食欲低下	☐ 明らかな体重減少(1kg程度以上)や 脱水はない。食事は減少する。	☐ 食事に影響が十分でない。 入院して点滴治療が必要である。
筋力低下	☐	☐ 力が入りにくい。	☐ 中程度の筋力低下があるが、 日常生活に影響は少ない。	☐ 強い筋力低下があり、日常生活に影響 がある。
関節痛	☐	☐ 軽い痛みがある。	☐ 中程度の痛みがあるが、 日常生活に影響は少ない。	☐ 強い痛みがあり、日常生活に影響 がある。
掻痒感	☐	☐ 軽い痒みがある。	☐ 中程度の痒みがあるが、 日常生活に影響は少ない。	☐ 強い痒みがあり、日常生活に影響 がある。
皮疹	☐	☐ 軽い皮疹がある。	☐ 中程度の皮疹があるが、 日常生活に影響は少ない。	☐ 強い皮疹があり、日常生活に影響 がある。

その他
(服薬状況等含む)

◎トレーニング レポートひな形

左: 抗がん剤用
右: 免疫チェックポイント
阻害薬用
(irAE自覚症状のチェック)

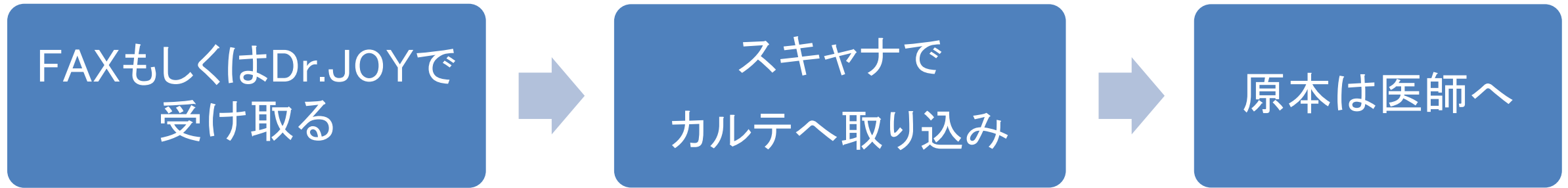
◎連絡方法

・FAX

・ **Dr. JOY**

(近隣薬局)

院内でのトレーシングレポートの流れ



薬剤部の対応

- ・医師への伝達事項や処方提案があればカルテ掲示板へ記載
- ・必要に応じて医師へ電話で報告

Take Home Message

- ・ 皮膚障害対策に保湿の指導をする
- ・ 皮膚障害の症状早期から対処して、できるだけ治療継続できるようにする
- ・ エルロチニブは相互作用に注意する



最後に…調剤薬局の皆様へ



いつも

トレーシングレポートをはじめ患者情報のご提供や患者
フォローアップをしていただき

ありがとうございます

今後ともよろしくお願い致します



ご視聴ありがとうございました
(2週間程度のオンデマンド配信を予定してます)

ご質問・ご意見・ご感想等あればお気軽にご連絡ください。

kameiyaku@saitama-med.jrc.or.jp

(さいたま赤十字病院 亀井)

講演終了後のスライドにも連絡先が記載されています。

